

2017. 11. 01

2週連続で台風が日本列島を襲いました。行楽の良い季節の週末にわざわざお出かけしてくださいました。サービス業の方々にとっては稼ぎ時に何ということかと嘆き節です。天気は寒くなったり暖かくなったりとジェットコースターに乗っているかのような気象状況です。秋の京都は絶好の紅葉の季節となります。八幡市にも良いところがありますよ、ぜひ一度来てください。

本日、第4次安倍内閣が発足いたします。本当に安倍さんは運の強い人です。一時は内閣支持率が「モリカケ」問題もあり、30%を切るところまで落ちた。解散の時期が良かったのか、野党の混迷により、総選挙の結果は告示当時の予想通りに与党の圧勝でケリがついた。こちらも天候と一緒にジェットコースターのような選挙であった。安倍首相が解散を発表する2時間前に小池東京都知事が「希望の党」の立ち上げを発表して、政権選択選挙だと民進党を吸収合併して大きな勢力になりそうな勢いで始まった。されど、告示前に民主党出身議員のすべてを受け入れる気は「さらさら」ないと言い、また「排除いたします」という不用意な一言から、流れは大きく変わってしまった。都議会選挙では安倍総理の「こんな人たちに負けるわけにはいかない」などの発言による敵失に助けられて大勝した小池都知事だった。「安倍一強体制」に対する不満と批判を取り込むために急遽「希望の党」を立ち上げたが、「小池人気」にあやかっただけの小池党である。民進党から公認を求めてきた候補者に対して「政策協定書」という踏み絵を踏ませた。それが表面化してしまったことも、逆風を強くする要因となった。「女性初の総理大臣」を賭けた衆議院選挙戦では自らの発言で勢いを失い、告示から1週間も経たないうちに「自民党一人勝ち」状況を作り出し、選挙戦全体を「消化試合」のような盛り上がりがないものにしてしまった。民進党のメンバーに思想の変節を求めたものであり、それをよしとしないメンバーらで立憲民主党を立ち上げた。こちらの方が筋を通したとして、結果的に野党第1党になった。一時は「政権交代が起きるか」という緊張感のある総選挙となりそうな雰囲気であったが、不用意な発言、いや本音の発言が見透かされてしまい、一瞬にして小池劇場の風が止んでしまった。そうなる結果はみえております。自民党以外に日本国を任せられる党はないので、消去法にて自民党が勝ってしまう構図なのです。よって、与党は3分の2を超える大勝です。これで、モリカケも済んだ。憲法改正に進めるということでもあります。消費税においても公明党が与党として信任されたので、軽減税率の導入は不動のものとなってきます。私共、税理士会は複数税率の導入には反対の立場で頑張っていきます。